

みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トゥーミー

2022年9月 vol.44



Contents

理事長挨拶	理事長 吉見直人	…	2
職員紹介		…	3
事業所トピックス		…	4
令和3年度 苦情受付状況		…	7
実践報告		…	8
資金収支計算書		…	9
事業活動計算書		…	10
貸借対照表		…	11
会計監査人監査報告書		…	12



ごあいさつ

理事長 吉見直人

今年も早や、9月を迎えています。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年の梅雨は思いのほか早く明け(6月末には明けたとのことでした。)、照りつける日差しに、今年の夏は大変だと思っていたら、戻り梅雨を思わせるような激しい雨が降ったり、また、灼熱の暑さが続いたり、まさに地球が温暖化の影響を受けていると思わせるような気候が続きました。各地で大雨による被害も多数報告されています。

更には、新型コロナウイルスの感染再拡大です。7月中旬頃よりオミクロン株の置き換わりにより、日本中で感染者が爆発的に増加しました。法人内の事業所にもその影響が出て、ご利用者や職員が次々と感染しました。ある事業所では、職員が10名規模で感染し、待機を余儀なくされる中、感染を免れた職員が災害時と同等の対応で、懸命の介護にあたりました。外部からの職員派遣は他の事業所への感染リスクを考えると、災害時に比べ限定的にならざるを得ず、ただただ、これ以上の感染者が出ないように祈るのみでした。感染者が職員に多く出た場合の対応については、今後も同様の事態が容易に想像できるため、法人を超えた協議の必要性を痛感しています。

今回、非常に厳しい環境にあっても、感染されていないご利用者と職員を一人でも守り抜くため、「陽性者が陽性者を介護する」事態を最後まで回避した現場の判断は、どの言葉を以てしても表現できないほど崇高な判断だったと思います。しかしながら、今回以上に職員の感染が増加していたら、崇高な判断すらできない状況に陥ったでしょう。政府はこの感染爆発の状況にあっても、「行動制限は行わない」としています。

9月の声を聞いても新型コロナウイルスと事業所の戦いはまだまだ続いています。「コロナは続くよどこまでも」です。

我々社会福祉従事者ができることは、感染防止対策を各人で行い、体調がすぐれない場合には積極的に休養する等、ウイルスを事業所に持ち込まないこと以外には今のところありません。このウイルスは、型を変えながらまた、感染爆発を起こすことを考えると、長いトンネルをさらに進むような閉塞感を覚えます。季節性インフルエンザのような対応を、一刻も早く望むところです。

職員紹介

どうぞよろしくお願ひします

令和4年度採用

津舟しのぶ | 兵庫県地域生活定着支援センター「ウイズ」



兵庫県地域生活定着支援センター「ウイズ」に勤務しております。津舟しのぶ(つぶねしのぶ)と申します。業務内容は高齢又は障害により、自立が困難な矯正施設収容中の者等の社会復帰に向けた保護、生活環境調整等で、令和4年度からは被疑者等も対象とした支援を行っております。支援対象者には障害・介護認定を受けていないケースも多く、障害福祉サービスに繋げていく作業は個人的問題解決だけではなく、周辺環境の把握、地域社会における共生をも考えていかなければなりません。ジェネラル・ソーシャルワークの実践に向け、自己研鑽を怠らず業務に取り組みたいと思います。



野山由香梨 | 兵庫県地域生活定着支援センター

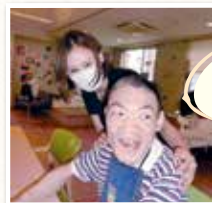


昨年8月より兵庫県地域生活定着支援センターで相談員として勤務させていただいている野山由香梨(のやまゆかり)です。定着支援センターのことを知らない方も多いかと思ひます。刑務所など矯正施設から出所する方や被疑者・被告人段階にある方が、地域や施設でサポートを受けながら生活できるよう、対象者や支援者の方々と一緒に考えて環境を整えていく仕事です。これからも地域を支えているみなさんから地域のことを教えていただき日々の支援に活かしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

安岡加代子 | 春日育成苑



今年の4月より契約職員から正規職員となり春日育成苑に配属となりました安岡加代子と申します。わからない事は周りの職員の方に教えていただき日々勉強しながら、ご利用者が笑顔で安心して過ごせられる環境を作れるよう努力していきたいと思ひます。初心を忘れず笑顔のコミュニケーションを大切にこれからも頑張ります。よろしくお願ひします。



笑顔で
コミュニケーションを!

安全でおいしい
給食提供を



大矢梨江子 | 認定こども園みつみ

こども園みつみでお世話になっている大矢梨江子(おおやりえこ)です。調理業務に携わり3年が経過しました。メニューによって食べる時間に苦労したり、一瞬で食べ終えたりと子供たちが一生懸命食べている姿はとても愛しく、私の元気の源です。また風通しのいい職場の雰囲気、職員の下で働けていることに感謝をし、これからも安全でおいしい給食提供を行えるよう、丁寧に取り組んでいきたいと思ひます。



横川 静果 | わかばこども園



4月からわかばこども園で勤務しております横川静果です。正規採用前からわかばこども園で勤めていました。この経験を活かし、子どもに寄り添い一緒に喜び、悲しみ、笑い合い、子どもの成長を感じながら日々の保育、仕事を頑張りたいと思ひています



寄り添う心を
大切に!

努力を怠らず
進んでいきたい

香川 匠 | 特別養護老人ホーム三愛荘



特別養護老人ホーム三愛荘の香川 匠です。三愛荘での働き始めは、今まで介護に携わる事が無かった為、分からない事が沢山ありました。しかし先輩方の指導の下、知識や技術、経験を積む事が出来、今年の四月から正規職員として働くこととなりました。今でもご利用者様の生活の中でご不便を掛ける事が、まだまだ至らないところがありますが、これからも努力を怠らず邁進していきたいと思ひます。



矢之満美子 | 特別養護老人ホーム三愛荘



特別養護老人ホーム三愛荘の矢之満美子です。介護職に就いて3年目、今年4月より正規職員として勤務しています。未経験から始め施設介護の大変さが身に増して感じられます。これからも介護職員としての意識を高く持ち、ご利用者のケアにも気持ちを込め寄り添った支援を心掛けて参ります。



寄り添った
支援を!

新人紹介

どうぞよろしく申し上げます

令和3年度採用

その人らしい生活が
送れるように

大槻 めい | 春日育成苑



昨年の四月に春日育成苑に配属となりました大槻めいです。昨年は仕事を覚えることとご利用者との関わりを大事にしてきました。これからも初心を忘れずご利用者との関りを大事にしたいと思います。ご利用者の生活がより良くなり、その人らしい生活が送れるよう支援します。



田原 麻弥 | 春日育成苑



昨年の4月に入社しました田原麻弥です。福祉の知識や経験がなく不安な思いが入社当時がありました。しかし、職場の上司や先輩に恵まれ助言やアドバイスをいただきながら、ご利用者一人ひとりに寄り添うことの大切さを知りました。また福祉における基本的な対人援助の技術や知識を日々学ぶことが出来ました。ご利用者の生活が快適なものとなるようサポートを行い、学び日々の業務に取り組んでいきたいです。



日々
一生懸命!

各施設のトピックス

おがわの里

特別養護老人ホームおがわの里では、ご利用者の皆様に夏を感じて頂く取り組みとして、玄関ホールに夏祭り風のゲームコーナーを夏季の間常設し、職員と共に自由に楽しんで頂けるようにしています。ゲームコーナーには金魚すくいと射的があり、特に金魚すくいは水に触れて頂くことも出来、ご利用者の方は涼を感じながら楽しんでいます。



また、7月5日には玄関前で手持ち花火を用いて花火大会を行いました。安全面を配慮しマンツーマンで対応し、綺麗な花火を楽しんで頂きました。



春日学園

コロナ禍により活動が制限されている中ではありますが子ども達と一緒に“何か楽しい事はないか?”と日々工夫をして過ごしております。とある日にはみんなで準備・計画し「宝探しゲーム」を実施しました。園内を散策したり、豪華景品ゲットの為にクイズに挑戦したりとみんなで楽しみました。





認定こども園みつみ

和太鼓の迫力に感動!!

園児の保護者（お父さん）でもある谷口真一さん率いる和太鼓チームが、園児たちに生の演奏を見てほしいということで、和太鼓の演奏を披露していただきました。園児である鼓君（息子さん）との親子共演もあり、迫力いっぱいの舞台を見せていただき、力強い太鼓の音色にパワーをもらったようです。園児たちは、「かっこいい」「じょうずや」と、終始興奮冷めやらぬ雰囲気でした。

和太鼓演奏に感動した5歳児たちは、その後鼓笛の太鼓を持ち出し鳴らし始めました。谷口さんの迫力さながらに、連打したりリズムに乗って打ったり、とても良い刺激を受けたようです。



わかばこども園

7月のお誕生会では、七夕の織姫と彦星の劇を楽しんでから、SDGsの取り組みをしました。17ある目標から今回は「14. 海の豊かさを守ろう」をテーマにし、「うみがめマリンの大冒険」という紙芝居を用いて伝えました。カメの子ども“マリン”は、ポリ袋をクラゲだと思って食べてしまいます。子ども達は、マリンがどうなるのか心配で、真剣な表情で紙芝居に見入っていました。わかばこども園ではその他の目標それぞれをテーマに取り上げ、今回の紙芝居や絵本の読み聞かせ、制作活動において取り入れ、保育の中の環境や体験を通じて学べるよう取り組んでおります。



みつみ学苑

みつみ学苑では、[3B体操]を取り入れています。3B体操は、3つの道具を使い分けて筋肉運動やストレッチを行うもので、障がいがある方でも音楽に合わせて体を動かすことができる体操とされています。コロナ禍で長らく中止としていましたが、久しぶりに講師の方に来て頂きました。体を動かす事で気分転換となり、和気あいあいとした雰囲気の中、ご利用者の皆さんの笑顔でいっぱいとなりました。



各施設のトピックス

認知症高齢者グループホーム とだ

フルーツパフェを作りました！

暑い季節の到来です。食欲の低下が心配です。そこで、暑い夏を楽しむをコンセプトにおやつ作りでフルーツパフェを作りました。材料はバナナ、チョコレート、ビスケット、生クリーム、アイス、カラースプレー等を使用しました。ガラスの器にバナナ等のフルーツを自分好みで盛り付けを行いアイスをトッピング！美味しそうなパフェが出来ました！皆さん「甘くて美味しいよ」と言ってすべてペロリと召し上がられました。



京都サポートセンター

生活介護事業所しんあいにて、年に1度の【オオクワガタの割出し】を7月13日に行い、各報道機関にも取材に来て頂きました。今年は76mmを越えるオオクワガタも割出され、ご利用者の歓声で盛り上がりました。後日、作業風景がテレビや新聞で報道され、嬉し恥かしで大笑いでした。

クワガタの売上金はしんあいご利用者へ工賃として還元します。



兵庫サポートセンター

【のじぎくスポーツ大会 (5.29) 三木総合防災公園にて】

3年ぶりの開催となる兵庫県主催の障害者スポーツ大会に男性ご利用者5名が参加しました。晴天の中、皆さん実力を発揮し、フライングディスク競技でメダルを獲得しました。久しぶりの行事での外出で、支援学校の先生や、友達との再会に、笑顔が絶えませんでした。



福祉ネイル～ネイルの力で、癒し・元気・笑顔を！～

今年の3月、4月、6月、7月と福祉ネイルリストの大西綾子さんに訪問していただきました。皆さん、思い思いのデザインとカラーを選ばれ、最後にお披露目。中には同じデザインの方もおられ、「一緒や～」と大喜び。新聞社の取材も受けました！

令和3年度 苦情受付状況

令和3年度中に各事業所で受け付けた苦情などについて記載の通りとなりました。いずれのケースも状況をお尋ねして、対応について振り返りを行い、業務の改善につながるように心がけました。

種別	件数	苦情の内容	種別	件数	苦情の内容
障害児・者支援サービス	1	ご利用者間のトラブルについて	高齢者支援サービス	1	ご家族への状況説明の不備
	1	事業所からの連絡対応について		1	職員の服装について
	1	短期入所利用時の通院対応について		1	入浴場の清掃について
	1	面会の再開及び対応について		2	食事の内容について
	1	怪我の確認について		3	サービスの質について
	1	書面における変更事由の説明について		4	ご利用者間のトラブルについて
	1	投薬確認の不備について		4	職員の接遇について
	1	行政からの書類について		4	職員の接遇について
	1	職員から職員への言動について		保育支援サービス	1
	1	事業所から業者への情報提供の内容について	1		ご家族への説明不足の不備
	2	短期利用に係る連絡対応について	2		職員の接遇について
	2	職員の自家用車及び公用車の運転について	2		保護者からの感染予防対策の問い合わせについて
	2	職員の言葉使いについて			
	3	職員の接遇及びご利用者への言動について			

令和3年度 事故報告

内訳

令和3年度 まとめ	
ご利用者からの苦情	18件
ご家族からの苦情	22件
地域・業者等の方からの苦情	1件
職員	1件
その他	3件
合計	45件

内訳

令和3年度 事故報告まとめ	
障害関係事業所	35件
高齢関係事業所	19件
保育関係事業所	5件
合計	58件
ご利用者の事故	44件
職員の事故	14件
合計	58件
事故の内訳	
転倒・転落等による骨折事故	31件
公用車・私用車による事故	5件
その他の事故	22件
合計	58件



強度行動障害のある方への支援 ～実践報告～

当法人では、春日学園、春日育成苑、みつみ学苑で令和2年から外部コンサルテーションを受け、強度行動障害の支援に取り組んでまいりました。このたび、令和4年5月13日に開催されました丹波健康福祉事務所主催の強度行動障害支援研修会（障害福祉関係者57名）にて3施設の実践報告を行いました。

公 演

北摂杉の子会 堀内 桂氏

冒頭、当法人がコンサルテーションでお世話になっている北摂杉の子会の堀内桂氏から、「強度行動障害の理解と支援」について講演がありました。

強度行動障害の支援のヒントについて、その背景には自閉症が存在すること、脳の過活動が行動に影響を与えているなどの最新の脳機能に関する研究から、丁寧にひといていただきました。また、支援の現場では、支援方法を知らないために、障害特性への配慮ができず、虐待に至るといった問題があると話されました。自閉症の脳の考え方、見え方に合った環境づくりや予告支援（見通しをもたせる）を行うことが最も重要であることを学びました。

※強度行動障害「直接的他害（かみつぎ、頭突きなど）や間接的他害（睡眠の乱れ、同一性の保持、多動、飛び出し、器物損壊、自傷行為など）が通常考えられない頻度と形式で出現し、その養育環境では著しく処遇の困難なものをいう」（講演資料から）

かりやすく説明されました。各報告者からは、アセスメントを丁寧に行うことで職員がご利用者を深く理解することが出来た、ご利用者に聞くこと、ご利用者の立場で考えることの大切さをあらためて認識したと報告されました。最後に、矢持氏から今後の課題として、①統一した支援を行うための周知、②チームの取り組みを超えた施設全体での取り組みへの変化、③より良い支援を目標に終わることのないPDCAサイクルの継続と実践を目指していきたいと強い決意が語られました。

参加者の声（アンケートより）

- ・多忙の中、利用者さん一人一人に合った個別な対応が出来ているのがすばらしいと思った。対応するにはアセスメント能力を高める必要の重要性を知った。
- ・実践発表はとても参考になった。通所事業所の方にも是非聴いていただきたいと思った。そのような機会を作って欲しい。
- ・いろいろな手間、時間がかかり大変だったと想像するが、どこの事業所も生活しやすくなって良かった!と言われた。すてきな支援者がいる地域ということで今後も自分にできることをしていきたい。
- ・強度行動障害で困ることがあれば法人（みつみ福祉会）に相談しようと思った。

実践報告

岩本 良氏（春日学園）
伊田 貴洋氏（春日育成苑）
矢持 達也氏（みつみ学苑）

ご利用者と職員が失敗を重ねながら、時間をかけ試行錯誤してできたスケジュールボードや手順書、それらを用いた予告支援によりご利用者の行動が改善した経過を、写真や動画を用いて参加者にわ

今回各施設から報告された取り組みは、ご利用者の権利擁護の具体的な実践事例として大変重要な意味を持っていると考えます。今後も強度行動障害への支援を継続していくことで、虐待の問題にも真摯に向き合い取り組んでまいります。また、施設の有する知識・経験を地域の事業者へ発信することで、社会福祉法人として地域への貢献を行ってまいります。と思います。（文責：人権擁護担当 中川優一）



資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	[777,145,000]	[765,292,014]	[11,852,986]	
	老人福祉事業収入	[314,821,000]	[313,332,988]	[1,488,012]	
	児童福祉事業収入	[58,331,000]	[61,183,015]	[△ 2,852,015]	
	保育事業収入	[360,107,000]	[363,198,212]	[△ 3,091,212]	
	就労支援事業収入	[50,317,000]	[53,547,349]	[△ 3,230,349]	
	障害福祉サービス等事業収入	[1,794,125,000]	[1,806,482,005]	[△ 12,357,005]	
	運営事業収入	[48,415,000]	[46,000,172]	[2,414,828]	
	借入金利息補助金収入	[3,722,000]	[3,726,542]	[△ 4,542]	
	経常経費寄附金収入	[5,737,000]	[7,456,738]	[△ 1,719,738]	
	受取利息配当金収入	[50,000]	[47,779]	[2,221]	
その他の収入	[11,913,000]	[12,345,718]	[△ 432,718]		
事業活動収入計 (1)	3,424,683,000	3,432,612,532	△ 7,929,532		
支出	人件費支出	[2,212,684,000]	[2,190,402,367]	[22,281,633]	
	事業費支出	[439,909,000]	[429,889,127]	[10,019,873]	
	事務費支出	[311,591,000]	[292,131,095]	[19,459,905]	
	就労支援事業支出	[59,374,000]	[59,408,187]	[△ 34,187]	
	利用者負担軽減額	[1,349,000]	[1,286,827]	[62,173]	
	支払利息支出	[10,716,000]	[10,753,781]	[△ 37,781]	
	その他の支出	[4,100,000]	[4,135,752]	[△ 35,752]	
事業活動支出計 (2)	3,039,723,000	2,988,007,136	51,715,864		
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	384,960,000	444,605,396	△ 59,645,396		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	[11,766,000]	[11,541,270]	[224,730]	
	施設設備等収入計 (4)	11,766,000	11,541,270	224,730	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	[117,112,000]	[117,110,000]	[2,000]	
	固定資産取得支出	[62,006,000]	[61,924,534]	[81,466]	
固定資産除却・廃棄支出	[861,000]	[680,423]	[180,577]		
ファイナンス・リース債務の返済支出	[33,523,000]	[32,536,672]	[986,328]		
施設整備等支出計 (5)	213,502,000	212,251,629	1,250,371		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 201,736,000	△ 200,710,359	△ 1,025,641		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	[42,443,000]	[44,357,757]	[△ 1,914,757]	
	その他の活動収入計 (7)	42,443,000	44,357,757	△ 1,914,757	
	支出				
	長期運営資金借入金元金償還支出	[7,737,000]	[7,736,000]	[1,000]	
積立資産支出	[182,852,000]	[223,440,917]	[△ 40,588,917]		
その他の活動支出計 (8)	190,589,000	231,176,917	△ 40,587,917		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	△ 148,146,000	△ 186,819,160	38,673,160		
予備費支出 (10)	[3,200,000]	-----	[3,200,000]		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	31,878,000	57,075,877	△ 25,197,877		
前期未支払資金残高 (12)	[896,797,102]	[896,797,102]	[0]		
当期未支払資金残高 (11) + (12)	928,675,102	953,872,979	△ 25,197,877		

事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)	
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	[765,292,014]	[829,988,262]	[△ 64,696,248]	
	老人福祉事業収益	[313,332,988]	[313,244,409]	[88,579]	
	児童福祉事業収益	[61,183,015]	[48,216,258]	[12,966,757]	
	保育事業収益	[363,198,212]	[352,296,548]	[10,901,664]	
	就労支援事業収益	[53,547,349]	[60,374,144]	[△ 6,826,795]	
	障害福祉サービス等事業収益	[1,806,482,005]	[1,788,684,957]	[17,797,048]	
	運営事業収益	[46,000,172]	[38,321,458]	[7,678,714]	
	経常経費寄附金収益	[7,456,738]	[7,657,427]	[△ 200,689]	
	その他の収益	[80,000]	[248,671]	[△ 168,671]	
	サービス活動収益計(1)	3,416,572,493	3,439,032,134	△ 22,459,641	
サービス活動増減の部	費用				
	人件費	[2,193,577,452]	[2,213,793,757]	[△ 20,216,305]	
	事業費	[429,189,127]	[431,550,728]	[△ 2,361,601]	
	事務費	[292,239,095]	[303,148,913]	[△ 10,909,818]	
	就労支援事業費用	[59,599,491]	[72,053,240]	[△ 12,453,749]	
	利用者負担軽減額	[1,286,827]	[1,341,904]	[△ 55,077]	
	減価償却費	[361,528,653]	[361,258,888]	[269,765]	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 154,407,303]	[△ 153,149,412]	[△ 1,257,891]	
	徴収不能引当金繰入	[0]	[110,393]	[△ 110,393]	
	サービス活動費用計(2)	3,183,013,342	3,230,108,411	△ 47,095,069	
	サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	233,559,151	208,923,723	24,635,428	
サービス活動外増減の部	収入				
	借入金利息補助金収益	[3,726,542]	[4,649,372]	[△ 922,830]	
	受取利息配当金収益	[47,779]	[219,066]	[△ 171,287]	
	その他のサービス活動外収益	[15,624,744]	[18,694,700]	[△ 3,069,956]	
		サービス活動外収益計(4)	19,399,065	23,563,138	△ 4,164,073
	支出				
支払利息	[10,753,781]	[13,211,866]	[△ 2,458,085]		
その他のサービス活動外費用	[8,322,143]	[13,062,545]	[△ 4,740,402]		
	サービス活動外費用計(5)	19,075,924	26,274,411	△ 7,198,487	
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	323,141	△ 2,711,273	3,034,414	
	経常増減差額(7) = (3) + (6)	233,882,292	206,212,450	27,669,842	
特別増減の部	収益				
	施設設備等補助金収益	[11,541,270]	[23,227,450]	[△ 11,686,180]	
		特別収益計(8)	11,541,270	23,227,450	△ 11,686,180
	費用				
	固定資産売却損・処分損	[4,122,036]	[3,500,237]	[621,799]	
国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 666,667]	[0]	[△ 666,667]		
国庫補助金等特別積立金積立額	[11,541,270]	[23,227,450]	[△ 11,686,180]		
	特別費用計(9)	14,996,639	26,727,687	△ 11,731,048	
	特別増減差額(10) = (8) - (9)	△ 3,455,369	△ 3,500,237	44,868	
	当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	230,426,923	202,712,213	27,714,710	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	[1,598,988,901]	[1,478,088,154]	[120,900,747]	
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)	1,829,415,824	1,680,800,367	148,615,457	
	基本金取崩額(14)	[0]	[0]	[0]	
	その他の積立金取崩額(15)	[13,021,229]	[149,804,534]	[△ 136,783,305]	
	その他の積立金積立額(16)	187,699,490	231,616,000	△ 43,916,510	
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)	1,654,737,563	1,598,988,901	55,748,662	

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	1,140,797,670	1,045,542,839	95,254,831
現金預金	650,017,800	608,375,383	41,642,417
事業未収金	417,842,272	399,985,981	△ 17,856,291
未収金	714,207	650,040	64,167
未収補助金	30,235,121	23,734,427	△ 6,500,694
商品・製品	136,383	114,630	△ 21,753
原材料	878,270	1,026,481	148,211
立替金	1,991,760	2,579,340	587,580
前払費用	39,215,103	9,364,803	△ 29,850,300
徴収不能引当金	△ 233,246	△ 288,246	△ 55,000
固定資産	6,012,827,727	6,136,308,757	△ 123,481,030
基本財産	3,652,093,212	3,904,686,802	△ 252,593,590
土地	303,804,423	303,804,423	0
建物	3,348,288,789	3,600,882,379	△ 252,593,590
その他の固定資産	2,360,734,515	2,231,621,955	129,112,560
土地	10,765,322	10,765,322	0
建物	49,160,146	59,808,595	△ 10,648,449
構築物	92,736,545	109,349,972	△ 16,613,427
車両運搬具	19,975,794	26,706,456	△ 6,730,662
器具及び備品	149,965,681	148,904,584	1,061,097
有形リース資産	96,062,999	115,226,510	△ 19,163,511
権利	79,162,771	82,471,755	△ 3,308,984
ソフトウェア	19,130,498	1,569,721	17,560,777
無形リース資産	15,546,782	26,926,226	△ 11,379,444
投資有価証券	165,000	165,000	△ 0
退職給付引当資産	104,772,844	100,947,942	3,824,902
長期預り金積立資産	4,350,000	4,350,000	0
施設整備積立資産	1,666,979,520	1,496,301,259	170,678,261
災害対策積立資産	46,006,613	42,006,613	4,000,000
差入保証金	5,936,000	5,936,000	0
長期前払費用	18,000	186,000	△ 168,000
資産の部 合計	7,153,625,397	7,181,851,596	△ 28,226,199
流動負債	365,721,834	359,824,504	5,897,330
事業未払金	93,807,993	57,240,683	36,567,310
1年以内返済予定設備資金借入金	94,920,000	117,110,000	△ 22,190,000
1年以内返済予定長期運営資金借入金	7,736,000	7,736,000	0
1年以内返済予定リース債務	24,328,402	31,669,536	△ 7,341,134
未払費用	78,633,935	78,914,588	△ 280,653
預り金	1,603,716	410,156	1,193,560
職員預り金	11,060,290	10,329,295	730,995
前受収益	1,037,350	998,150	39,200
賞与引当金	52,594,148	55,416,096	△ 2,821,948
固定負債	967,579,727	1,088,031,864	△ 120,452,137
設備資金借入金	693,621,000	788,541,000	△ 94,920,000
長期運営資金借入金	51,676,000	59,412,000	△ 7,736,000
リース債務	87,938,963	110,901,056	△ 22,962,093
退職給付引当金	129,993,764	124,827,808	5,165,956
長期預り金	4,350,000	4,350,000	0
負債の部 合計	1,333,301,561	1,447,856,368	△ 114,554,807
純資産の部			
基本金	571,724,796	571,724,796	0
国庫補助金等特別積立金	1,880,875,344	2,024,973,659	△ 144,098,315
その他の積立金	1,712,986,133	1,538,307,872	174,678,261
施設整備積立金	1,666,979,520	1,496,301,259	170,678,261
災害対策積立金	46,006,613	42,006,613	4,000,000
次期繰越活動増減差額	1,654,737,563	1,598,988,901	55,748,662
(うち当期活動増減差額)	230,426,923	202,712,213	△ 27,714,710
純資産の部 合計	5,820,323,836	5,733,995,228	86,328,608
負債及び純資産の部合計	7,153,625,397	7,181,851,596	△ 28,226,199

独立監査人の監査報告書

令和4年6月10日

社会福祉法人みつみ福祉会
理事会 御中

公認会計士 前原啓二事務所
兵庫県神戸市
公認会計士 前原 啓二

<計算関係書類監査> 監査意見

私たちは、社会福祉法第45条の28第2項第1号及び社会福祉法施行規則第2条の30第1項の規定に基づき、社会福祉法人みつみ福祉会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の計算関係書類(社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表、同項第2号イ(1)に規定する法人単位資金収支計算書、同号ロ(1)に規定する法人単位事業活動計算書及び社会福祉法人会計基準第29条第1項に規定する法人全体についての計算書類に対する注記並びにそれらに対応する附属明細書(社会福祉法人会計基準第30条第1項第1号から第3号まで及び第6号並びに第7号に規定する書類に限る。)の項目をいう。以下同じ。)について監査を行った。

私たちは、上記の計算関係書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して、当該計算関係書類に係る期間の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算関係書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書、計算関係書類のうち監査意見の対象とされていない部分並びに、財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの計算関係書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算関係書類監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算関係書類又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

計算関係書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠して計算関係書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算関係書類を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算関係書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算関係書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算関係書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算関係書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保障を得て、監査報告書において独立の立場から計算関係書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算関係書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続きを立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
 - ・計算関係書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
 - ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積り及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
 - ・理事者が継続事業を前提として計算関係書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算関係書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続し事業として、存在できなくなる可能性がある。
 - ・計算関係書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算関係書類の表示、構成及び内容、並びに計算関係書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- 監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私たちは、社会福祉法第45条の19第2項及び社会福祉法施行規則第2条の22の規定に基づき、社会福祉法人みつみ福祉会の令和4年3月31日現在の令和3年度の財産目録(社会福祉法人会計基準第7条の2第1項第1号イに規定する法人単位貸借対照表に対応する項目に限る。以下同じ。)について監査を行った。

私たちは、上記の財産目録が、全ての重要な点において、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠するとともに、法人単位貸借対照表と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる社会福祉法人会計の基準に準拠しており、法人単位貸借対照表と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

利害関係 感覚

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

あとがき

今年で3度目のコロナの中で、世の中は行動制限のない夏となりました。一方で法人の事業所では、コロナウイルスとの戦いが今も続いています。ご利用者職員に次々と感染が広がる中、懸命なケアに追われている状況です。皆様にはご心配をおかけして申し訳ありません。一日も早い終息を願わずにいられます。

井上

みつみ福祉会情報誌

フォーミー・トゥーミー vol.44
2022.9月発行

発行所：社会福祉法人 みつみ福祉会

発行人：吉見 直人

〒669-4132

兵庫県丹波市春日町野村 65-1 番地

TEL 0795-75-0314

FAX 0795-75-1694

URL <http://www.mitsumi.or.jp>

